



みどり

第6号 令和4年9月13日

～Eye eyeあいさつ 学びを深め 進んでかかわる みどりの子～

下野市立緑小学校 高橋 美恵子



本県の正答率「平均並み」、理科は上回る（下野新聞）



前回の学校だよりでは、「とちぎっ子学習状況調査」の結果についてお知らせしました。今回は、文科省が実施した「全国学力・学習状況調査結果」の概要についてお知らせします。下野市の概要については、市教育研究所ホームページ（けやきネット）に掲載されますので、ご覧ください。これらの結果を踏まえ、学校では児童の実態に合った学力向上の対策を更に推進していきます。

全国学力・学習状況調査（緑小の概要）

4月19日（火）に6年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、本校と全国平均正答率との比較結果をお知らせいたします。6年生の個人結果については、担任より9月 日（ ）に配付してあります。お子さんと一緒に学習について話し合ったり、これからのめあてを考えたりする参考にいただければと思います。

- ☆ 大きく上回っている（10ポイント以上）
- ◎ 大きく上回っている（5ポイント以上10ポイント未満）
- 上回っている（1ポイント以上 5ポイント未満）
- 同程度（±1ポイント未満）
- ▽ 下回っている（1ポイント以上）

（1）全体と領域別の比較 <全国平均正答率との比較>

	国語
全体	○
知識・技能	—
思考・判断・表現	○
話すこと・聞くこと	○
書くこと	▽
読むこと	☆

	算数
全体	◎
知識・技能	○
思考・判断・表現	◎
数と計算	○
図形	◎
変化と関係	◎
データの活用	◎

	理科
全体	◎
知識・技能	◎
思考・判断・表現	◎
エネルギーを柱とする領域	○
粒子を柱とする領域	○
生命を柱とする領域	☆
地球を柱とする領域	○

【傾向】国語の「知識・技能」「書くこと」以外は、どの教科も全国平均を上回る良好な結果が得られました。特に国語の「読むこと」と理科の「生命を柱とする領域」については、10ポイント以上上回っていました。

【全国・県・本校ともに正答率の低かった項目】



※国語

【知識・技能】①言葉の特徴や使い方に関する事項

- 漢字を文の中で正しく使う（短答式の問題） → 「はんせい」を漢字で書く。
- 言葉には相手とのつながりをつくる働きがあることを捉える（選択式） → 発言の理由として適切なものを選ぶ。

【思考・判断・表現】①書くこと

- 文章全体の構成や書き表し方などに着目して文や文章を整える（選択式） → □の部分をもとに、どの部分をもとに気をつけて書いたか適切なものを選択する。
- 文章に対する感想や意見を伝え合い、自分の文章のよいところを見つける（記述式） → 「伝え合いの様子の一部」をもとに「文章2」のよさを書く。

※算数

【知識・技能】①変化と関係

- 数量が変わっても割合は変わらないことを理解している（選択式） → 果汁が含まれている飲み物の量を半分にしたときの果汁の割合について正しいものを選ぶ。

【思考・判断・表現】①数と計算

- 示された場面において目的に合った数の処理の仕方を考察できる（選択式） → 85×21 の答えが1470より必ず大きくなることを判断するための数の処理の仕方を選ぶ。

②変化と関係

- 伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて未知の数量の求め方と答えを記述できる（記述式） → 果汁が30%含まれている飲み物に、果汁が180mL入っているときの飲み物の量の求め方と答えを書く。

※理科

【知識・技能】①エネルギーを柱とする領域

- 日光は直進することを理解している（選択式の問題） → 光の性質をもとに、鏡を操作して指定した的に反射させた日光を当てることができた人を選ぶ。

【思考・判断・表現】①粒子を柱とする領域

- 自然の事物・現象から得た情報を他者の気づきの視点で分析して解釈し自分の考えをもち、その内容を記述できる（記述式） → 凍った水溶液について試してみたいことをもとに、見いだされた問題を解く。

②エネルギーを柱とする領域

- 実験で得た結果を問題の視点で分析して解釈し自分の考えをもち、その内容を記述できる（記述式） → 問題に対するまとめから、その根拠を実験の経過をもとに書く。

③地球を柱とする領域

- 観察などで得た結果を結果からいえることの視点で分析して解釈し自分の考えをもつことができる（選択式） → 結果からいえることは、提示された結果のどこを分析したものなのかを選ぶ。

これらの問題を解く力を定着させるために、既習事項をしっかりと復習してから発展的な課題に取り組むように指導していきたいと思います。

(2) 児童質問紙の回答から・・・「はい」「どちらかといえばはい」「どちらかといえばいいえ」「いいえ」の4択

※「はい」と「どちらかといえばはい」で80%以上になる項目には、◎がついている。

「はい」の割合が、全国・県と比較してよい傾向がみられる質問項目	緑小%	全国%	【考察】
朝食を毎日食べている	85.4 ◎	84.9	
携帯電話やコンピューターの使い方について家の人と約束したことを守っている	66.7 ◎	39.4	
自分には、よいところがある	54.2 ◎	39.4	
将来の夢や目標をもっている	72.9 ◎	60.4	
自分でやると決めたことはやり遂げるようにしている	45.8 ◎	38.8	
難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している	41.7 ◎	27.6	
人が困っているときは、進んで助けている	60.4 ◎	44.9	
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思う	93.8 ◎	83.9	
人の役に立つ人間になりたい	81.3 ◎	75.1	
学校に行くのは楽しい	70.8 ◎	51.3	
自分と違う意見について考えるのは楽しい	37.5	30.4	
友達と協力するのは楽しい	85.4 ◎	72.6	
家で自分で計画を立てて勉強している	35.4 ◎	27.5	
読書は好きだ	50.0 ◎	41.9	
地域の行事に参加している	33.3	23.4	
課題の解決に向けて自分で考え、自分から取り組んでいる	52.1 ◎	30.5	
地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがある	33.3	17.6	
学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり広げたりしている	50.0 ◎	37.7	
学級生活をよりよくするために学級会で互いの意見のよさを生かして解決方法を決めている	50.0 ◎	30.5	
学級での話し合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる	41.7 ◎	31.0	
道徳の授業では自分の考えを深めたり学級やグループで話し合ったりする活動をしている	62.5 ◎	42.5	
学習した内容について分かった点やよく分からなかった点を見直し次の学習につなげている	47.9 ◎	33.2	
国語の授業の内容はよく分かる	56.3 ◎	39.5	
国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	66.7 ◎	65.5	
算数の授業の内容はよく分かる	58.3 ◎	45.6	
算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	79.2 ◎	74.7	
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	50.0	33.1	
算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える	58.3 ◎	44.9	
算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしている	60.4 ◎	48.5	
算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える	62.5 ◎	43.8	
理科の授業の内容はよく分かる	66.7 ◎	54.9	
理科の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う	66.7 ◎	45.5	
理科の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える	50.0 ◎	35.1	
将来、理科や科学技術に関係する職業に就きたい	33.3	13.1	
理科の授業では、自分の予想をもとに観察や実験の計画を立てている	62.5 ◎	40.5	
理科の授業で観察や実験の結果から分かったことを考えている	68.8 ◎	47.0	
理科の授業で観察や実験の進め方や考え方が間違っていないか振り返って考えている	56.3 ◎	33.3	

④学校の授業以外での普段（月～金）1日あたりの読書時間（教科書・参考書・漫画・雑誌は除く）は、1時間以上が33.3%、30分～1時間14.6%、10分～30分未満22.9%、10分未満が8.3%、全く読まないが20.8%でした。5年生の時より、1時間以上読書する児童が増えています。長文を読み通し、内容を理解する力を高めるためにも読書活動を奨励していきます。

⑤普段（月～金）1日あたりのコンピュータゲームや携帯ゲーム等をする時間を5年生の時（とちぎっ子学習状況調査）と比較

	1時間未満	1時間以上2時間未満	2時間以上3時間未満	3時間以上	全くしない
5年生	28.3	23.9	23.9	15.2	8.7
6年生	20.8	37.5	14.6	16.7	10.4

これからもルールを決めて楽しく使用できるよう、ご家庭でのゲームに関わる環境作りをよろしくお願ひします。

⑥「放課後や週末に何をしておごすことが多いか」について、6年児童が複数回答した結果です。

＜本校＞1位	家でテレビや動画を見たりゲームをしたりする	＜県＞1位	本校と同じ	＜全国＞1位	本校と同じ
2位	家で勉強や読書をする	2位	家族とすごす	2位	家族とすごす
3位	家族とすごす	3位	家で勉強や読書をする	3位	友達と遊ぶ

夏休み中、先生方も研修に努めました。

先生方は、県や市・校内での研修会や会議、備品や各教室の整理、諸帳簿の整理等に取り組みました。

＜8月1日、二中学区小中一貫教育研修会＞

今回も南河内第二中学校に集まり、各部会それぞれの取組の共通理解と、これからの取組についての話し合いをしました。どの部会も、熱心な意見交換が行われました。

＜緑小の校内研修＞

「新教育課程研修報告会」「アレルギー対応研修」「とちぎっ子・全国学力学習状況調査分析・対策研修」「研究授業の指導案検討」等に取り組みました。研修で学んだことを9月からの子供たちへの指導に生かしていきます。

